



CASE
1

「秋田」の良品を海外へ届ける

ミウイズ
[Miui's (株式会社アネシア) | <http://www.miuis-japan.com>]

〒017-0042 秋田県大館市字観音堂 539-1 CanNon II 1F / TEL.0186-49-3162 FAX.0186-57-8190
E-mail: info@miuis-japan.com

「海外で行なった市場調査で確信を得ました」と関口みゆき社長



帯アートや秋田の伝統雑貨などを海外に発信する

ライフワークとしての帯アート制作に取り組む

今回、取材した関口みゆきさんは、大館市で不動産賃貸業等を行う「アネシア」の経営者。

2015年、新事業「Miui's(ミウイズ)」を立ち上げた。「子供たちが独立して自由な時間ができたので、以前からやりたかった仕事に着手しました」と関口さん。Miui'sとは名前の母音をつなげた造語。「自分のライフワークのための場所」という意味を込めている。

Miui'sの事業の柱は、美しい帯の結び目を壁飾りにした「帯アート」の制作販売と、組子細工などの秋田生まれの小物雑貨類販売の二つ。販売先として海外、特に欧米に照準を絞り、調査・商談を開始した。その際、当センターの「あきた企業応援ファンド事業」を利用。「どの地域をターゲットにするかを定める市場調査に役立ちました」と関口さん。その結果、作品の雰囲気や歴史・文化を深く理解してくれるフランスが相応しいという結論を出した。米国とは求められる色や形、作品に対する反応が大きく違った。実際に赴いてみなければ分からなかった貴重なリサーチだったという。

複数回の視察&営業で人脈づくりを

関口さんは「絹文化を持つフランスは和装の文化を理解してくれます。シックな色合いを好むなど感性も合いました」。その後、何度もフランスへ足を運び、商品を扱ってくれるショップの開拓や人脈づくりを重ねている。

もう一つの柱である雑貨類のコンセプトも明確だ。秋田には曲げわっぱや組子細工などの木工芸品がある。木目や細工が美しい価値のある逸品だ。関口さんは、そういう秋田の優れた小物類を、帯アートと一緒に紹介し販売しようとしている。雑貨類は秋田のものだけで種類を揃える意向だ。

「まずは自社商品開発に伴う知的財産権を押さえ、態勢を整えることが肝心です」。関口さんの目標は一つずつ、着実に階段を上っている。



A 美しい帯の結び目を活かして仕上げた帯アート。帯の柄や結び目の形など、日本の布文化をディスプレイする。
B 秋田杉の組子細工ティースタンド(組み立て式)。
C フランスでの商談の様様。

事業概要 あきた企業応援ファンド事業

地域資源を活用した県内企業や経営革新の承認を受けた県内企業の新商品開発等の取組を支援します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター／設備・研究推進課 (018-860-5702)まで。